

**地域を守る！ 防災訓練をアップデート**  
～地域における未就学児世帯の防災力向上に向けて～





# オープニング

## ～市長からの挨拶～



# オープニング ～自己紹介～

## 本日の流れ



1. オープニング（市長挨拶、自己紹介など）
2. 中原区役所からの説明①
3. 意見交換①
4. 中原区役所からの説明②
5. 意見交換②
6. まとめ（区長・市長の総評）
7. 閉会



# 中原区役所からの説明①

# 1. これまでの経過 ～R6課題認識～

◇人口約27万人の中原区では、大地震が発生した場合、老朽木造住宅が密集する一部の地区では建物倒壊や火災の延焼が特に多く発生するとともに、武蔵小杉駅周辺では帰宅困難者の滞留が発生することも想定される。

中原区的主要被害想定			
条件：川崎市直下の地震（震度6強）、夏12時発生			
●建物被害			
揺れ		火災	
全壊数（棟）	半壊数（棟）	出火（件）	焼失（棟）
3,620	7,644	25	1,606
・老朽木造住宅が密集する等々力、平間、住吉地区では、建物倒壊や火災の延焼が特に多く発生。 <small>参考：川崎市地震被害想定調査（平成25年） 備える防災マップ（中原）</small>			

中原区的主要被害想定			
条件：川崎市直下の地震（震度6強）、夏12時発生			
●人的被害			
建物倒壊		火災	
死者（人）	負傷者（人）	死者（人）	負傷者（人）
108	1,774	18	304
・武蔵小杉駅周辺は帰宅困難者の滞留が発生。 （想定滞留者数：最大14,113人/平日朝8時） <small>参考：川崎市地震被害想定調査（平成25年） 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画（令和6年3月改定）</small>			

◇こうした課題認識の下、R6車座集会では、区民ひとりひとりの防災力向上を目指し、「あなたが考えるこれから必要な訓練とは？」「区民が参加しやすい訓練とするためには？」をテーマに意見交換を行った。

### 防災訓練に関する現状

①個々に異なる多様な現状に対応するため、時代に合った訓練へのアップデートが必要

多様化する  
生活スタイル

（核家族化、  
共働き世帯の増加等）

感染症  
の流行


高齢化  
の進展

在宅避難  
の推奨

### 防災訓練に関する現状

②防災訓練の参加者が偏っている

- ・60代～半数程度
- ・町内会、マンション理事会等の活動に参加されている方がほとんど



# 1. これまでの経過 ～R6車座集会～

◇R6車座集会では、防災訓練へのハードルの高さや必要な訓練が人それぞれ異なる点に関する意見が多く寄せられた。

「現状、子供と防災訓練に参加するということは、すごいハードルが高いなと思います」

「防災訓練に参加するのに、子供、高校生や中学生はやっぱり面倒くさいと思いがちなので、ゲーム性とか楽しさというのが大事だと思いました」

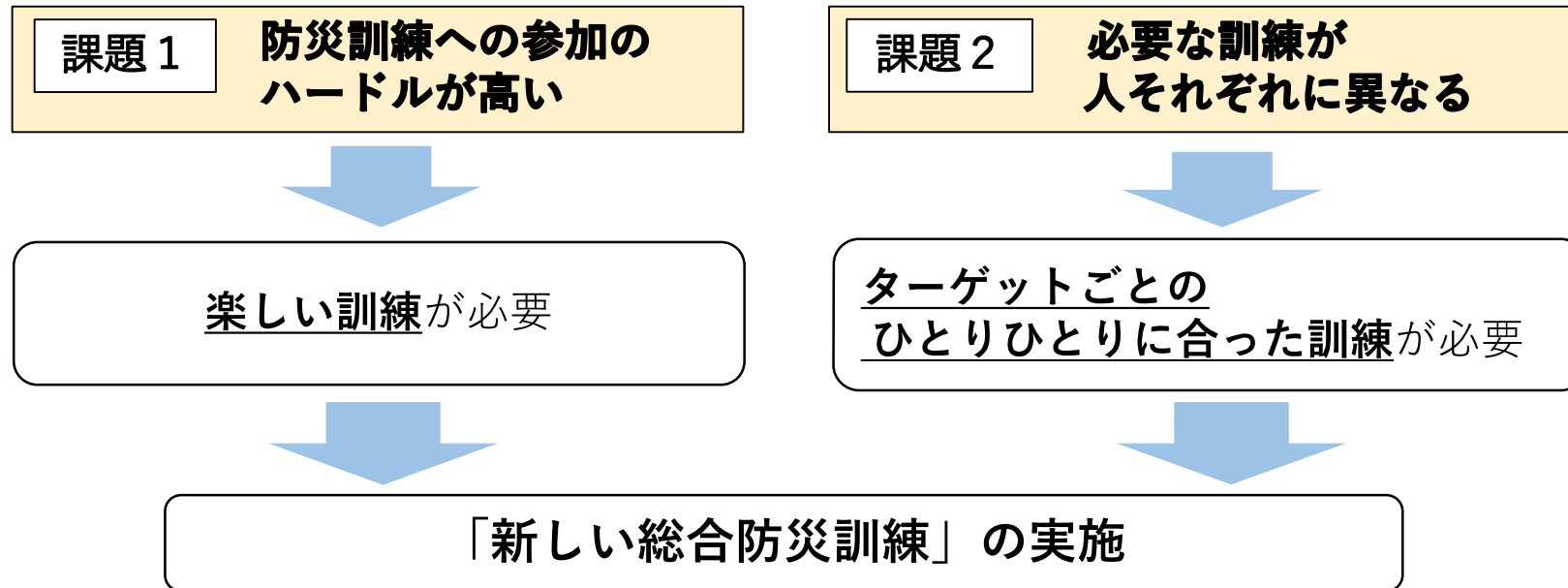
「タワマンには、様々な年齢の子供を持つ子育て世帯がいて、高齢者もいて、色々な世代の方々がいるので、どういう防災訓練が良いのかと思う」

「同じ災害でも、人や状況によって対応方法の答えは異なるので、きっかけを与えてあげて、各家庭、各個人で考えることが大事ではないか」



# 1. これまでの経過 ～R7取組の考え方～

◇中原区では、R6車座集会で顕在化した2つの課題とそれに対する解決策を以下のとおり整理して「新しい総合防災訓練」の実施を検討



◇その際、総合防災訓練で「誰に」「何を」届けるのかを明確にし、効果検証をしやすいするため、メインターゲットを「未就学児世帯」に設定

## 【未就学児世帯に設定した理由】

- ・ 中原区では30～40代の子育て世帯が他区と比較して多い。
- ・ 中でも未就学児世帯は、幼い子どもを守るために防災意識が特に高まりやすい。
- ・ 一方で、未就学児世帯は忙しいため、防災訓練になかなか参加できない。

➡ R7第2回中原区総合防災訓練として主に3つの取組を実施（防災訓練をアップデート）

## 2. R7取組の内容

### (1) 楽しい訓練として『ちびっこぼうさいがっこう ～イザ!カエルキャラバン!～』を実施

日時：令和7年11月8日（土）

場所：小杉小学校

内容：親子で一緒に楽しみながら防災について学べる複数のプログラムを実施



#### 【防災プログラム】

- ・ 消火栓での的当てゲーム
- ・ 毛布で担架タイムトライアル
- ・ 家具転倒防止間違い探し
- ・ お家の防災グッズなあとクイズ
- ・ 防災倉庫の中身なあとクイズ
- ・ 防災カードゲーム「シャッフル」
- ・ 防災かみしばい
- ・ 紙食器をつくろう

防災プログラムへの参加で「カエルポイント」が貯まり、保有ポイントとおもちゃを交換できる仕組み

## 2. R7取組の内容

### (2) 自宅で必要な備えについて考える『おうちでできる防災訓練』を実施

日時：令和7年9月19日（金）～11月16日（日）

場所：各世帯の自宅

内容：専用リーフレットにより、家具の固定や防災用品のストック等について学び、備えるとともに、その結果をWEBで区に報告



リーフレットの内容やデザイン、展開方法等については「地域デザイン会議」で市民の意見を収集・反映



「タイトルや小見出しにメリハリを付けるとより分かりやすく、見やすくなると思う」  
「A4サイズだと大き過ぎるので、母子手帳サイズが良いのでは？」  
「アンケートの景品に防災グッズがあると良い」

保育園等を通じて取組内容を保護者に周知

中原区



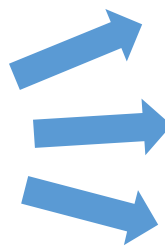
企画・広報



連携



保育園・幼稚園・  
地子セン・  
乳幼児健診など



広報・参加の  
呼びかけ



未就学世帯

防災について学び、  
備えた結果をWEB上  
で区役所に報告

## 2. R7取組の内容

### (3) 武蔵小杉駅周辺の公共的空間を活用して『なかはら まるまる防災博』を実施

日時：令和7年11月8日（土）

場所：こすぎコアパーク、市道小杉町21号線

内容：武蔵小杉駅周辺の公共的空間や近隣の商業施設等で一斉に防災啓発



【防災ショーケース】



【はたらくくるま大集合!】

未就学児世帯も意識しつつ、中原区内の企業や団体等と連携しながら、大規模防災イベントとして展開  
※啓発を受けたその場で防災グッズも購入可能



【おうちのソナエテスト】



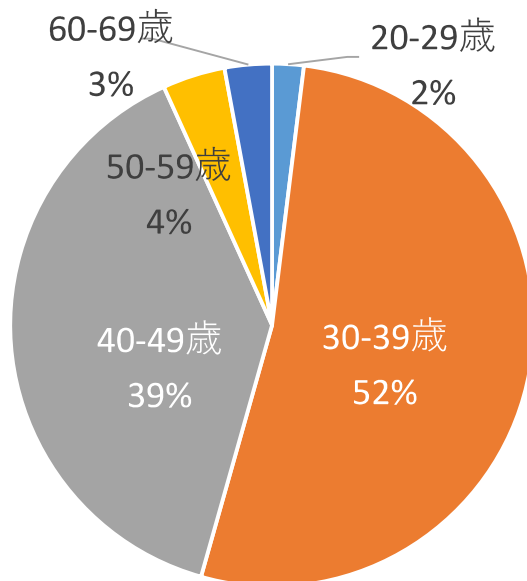
【コスギでそろえるボーサイグッズ】

- ・こすぎコアパークや市道小杉町21号線沿いに、約60の企業や団体等がブース出店
- ・ブースの1つとして『おうちでできる防災訓練』の啓発をここでも実施
- ・当日の参加者数は約1万人程度（推定）

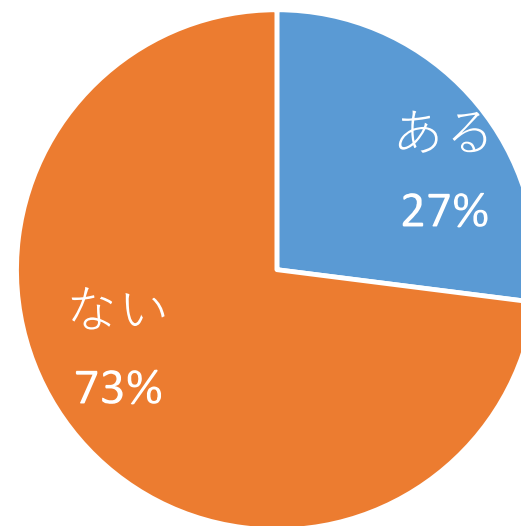
### 3. R7取組を通じて見えたこと

◇メインターゲットを未就学児世帯として、保育園・幼稚園などの子育て関係施設や乳幼児健診などを通じ、楽しそうなイベントとして告知することで、防災訓練の参加経験の無い多くの方々に、防災について考えるきっかけを提供できた。

参加者（親）の年齢

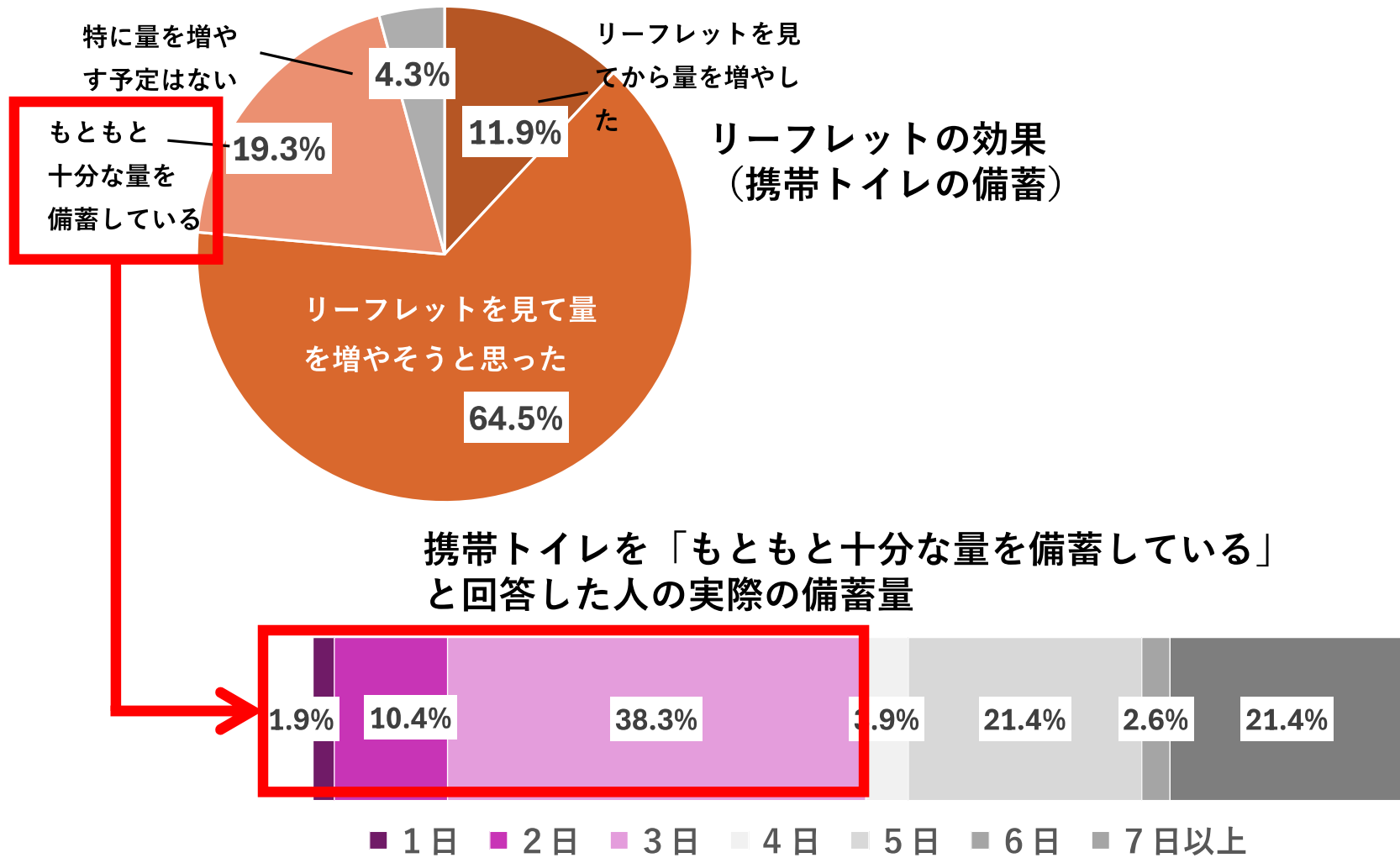


防災訓練参加経験の有無



- ・小杉小のイベントでは、参加者の9割以上が30～40代の子育て世代だった。
- ・参加者の7割以上が過去に防災訓練に参加したことがなかった。

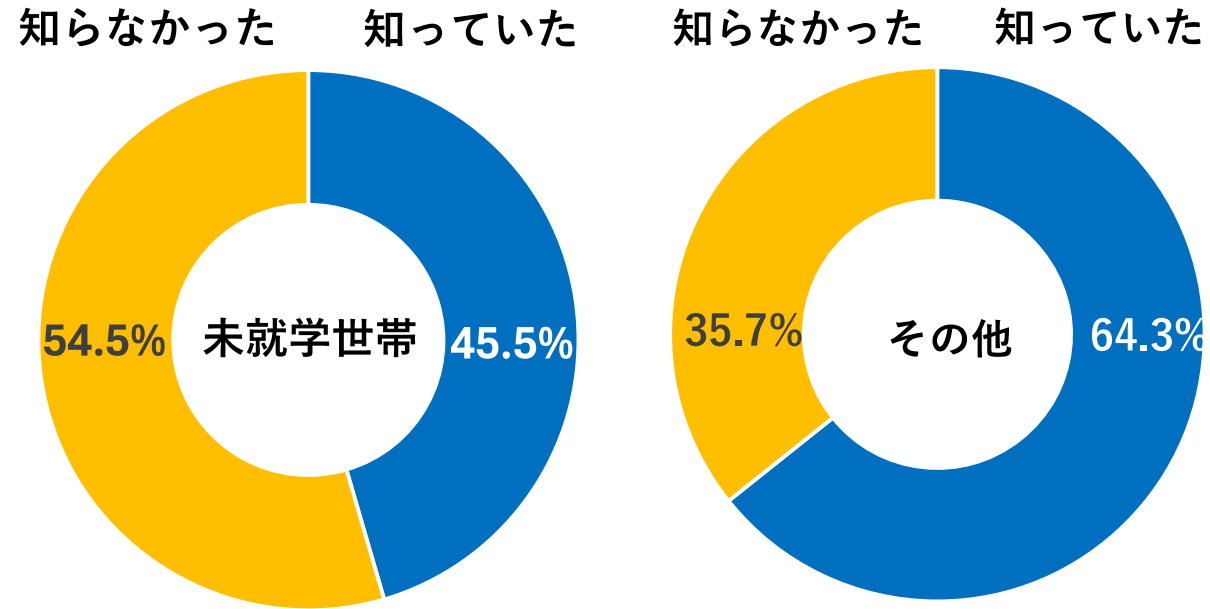
### 3. R7取組を通じて見えたこと



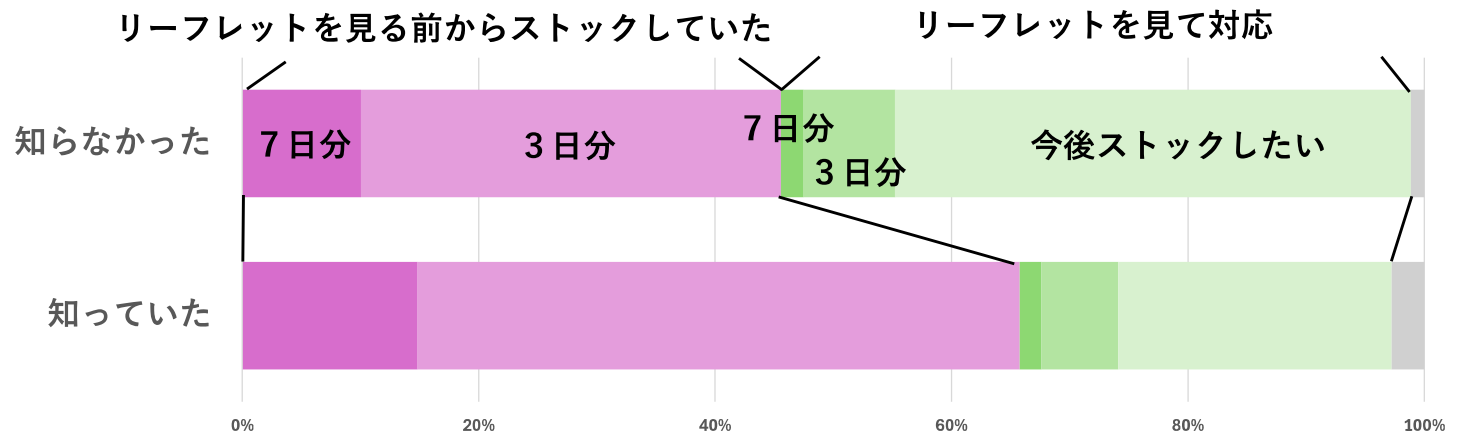
携帯トイレを「もともと十分な量を備蓄している」と回答した人の約5割が3日程度の備蓄量に留まっている。

### 3. R7取組を通じて見えたこと

在宅避難の推奨  
の認知度



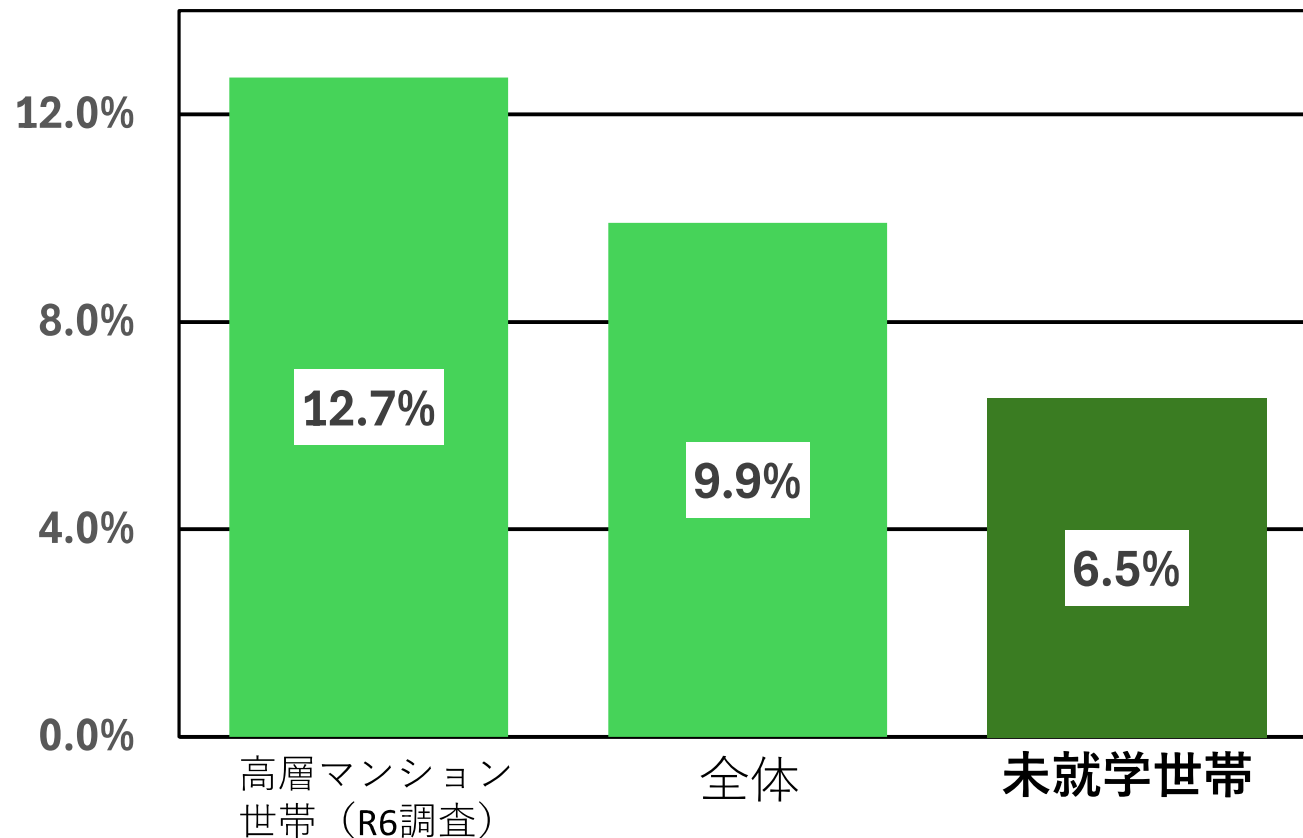
在宅避難の認知度別  
ベビーフード等  
子ども用品の備蓄量



「在宅避難」の認知度について、未就学世帯以外では6割以上が認知している一方で、未就学世帯では約45%となっており、在宅避難を認知していない世帯は子ども向けの備蓄が十分にできていない傾向にある。

### 3. R7取組を通じて見えたこと

家具を「全部または大部分を固定している」割合



未就学児世帯は、家具を「全部または大部分を固定している」と回答した人の割合が相対的に低い。

### 3. R7取組を通じて見えたこと

◇『おうちでできるぼうさい訓練』のアンケートの感想欄（自由記入）には、以下のような意見が寄せられた。

- －備蓄品や耐震補強の準備は「備えましょう！」という言葉はよく聞くものの、具体的に何をどのくらいやればいいのか分からず後回しにしていた。
- －備えていても基本ほったらかしなので、このようなリーフレットをいただくと改めて確認し直す機会になるので定期的に発行してもらえたら嬉しいです。
- －夫婦2人の時と違い、防災、災害対策についての考え方が180度変わり、後回しにしていた対策や防止を真っ先にしました。ですが、自分が思っていたよりも対策が足りておらず、リーフレットを見て勉強になりました。
- －子供の成長が早いので一度備えたものを定期的に見直すことが必要と思います。（これを機に防災カバンの中のオムツのサイズアップをしました）

 **市民や区民の意見や評価を直接確認して、次年度以降の総合防災訓練に繋げる必要がある。**

## 意見交換①

- (1) 中原区のR7総合防災訓練（3つの取組）  
について意見や感想を教えてください。
- (2) 防災に関して、不安に感じていることや  
知りたいことについて教えてください。



# 中原区役所からの説明②

## 4. 未就学児世帯へのアプローチ継続の必要性

◇R7取組では未就学児世帯をメインターゲットに設定したが、未就学児世帯は、以下の理由から今後も継続的なアプローチが必要である。

- ・保護者が若い子どもを災害から守らなければならない。
- ・保護者が忙しく、防災に多くのリソースを注げない。
- ・在宅避難の認知度や家具を固定している割合が相対的に低い。
- ・総合防災訓練への参加経験が無い世帯が多い。
- ・未就学児のうちに保護者の防災意識を高めることで、子育て期を通じて防災意識を高く保ち、家族の防災意識を高めることにも繋がる。



## 5. 未就学児世帯の防災力向上に向けた課題認識

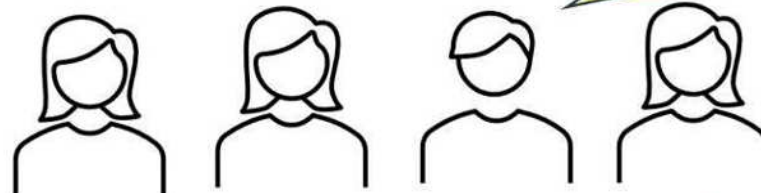
◇『おうちでできるぼうさい訓練』のアンケートでは、未就学児世帯の保護者から「地域のつながり」に関する期待や不安の声が多く寄せられたところである。

物を備えることも大事だが、近所の人や地域とのつながりをもっと持っていないと、何かあった時に皆で協力して助かる確率が低くなりそう。

(30代／女性／0歳児と3歳児のママ)

いつきてもおかしくない災害に備えて子どもたちを守り、地域の方々と協力しながら、これから備えを万全にしていきたいと思います。

(30代／男性／1歳児と2歳児のパパ)



地域の方との関わりを持ち、近所で助け合うことや、声かけ出来る環境が大事だと思う。

(30代／女性／3歳児のママ)

R7防災訓練  
アンケート

各家庭の自助努力と合わせ地域で支援できるようになるといい。

(30代／女性／0歳児のママ)

未就学児世帯にアプローチする機会や、未就学児世帯が防災について考えるきっかけを増やすためには、行政による防災訓練という手法だけではなく、地域の多様な主体を想定した取組の形についても検討する必要がある。

# 6. 目指す姿 ～中原区民ひとりひとりの防災力向上に向けて～

## 【地域の多様な主体】

防災に関する各種啓発や働きかけ等を行う。  
(きっかけづくり、土壌づくり、繋がりづくりetc)

### 【中原区役所】



これら両輪で「中原区民ひとりひとりの防災力向上」を実現

参加しやすくひとりひとりに合った防災訓練を提供する。



自主的・継続的に防災に関する取組を行っている。

### 【中原区民】



地域と繋がり、地域で交わりながら、防災について知り、考え、学び、備える。

まずは「未就学児世帯」に関して、目指す姿に向けた取組等について検討したい。

## 意見交換②



- (1) 所属する団体や企業などで行っている防災の取組や、取組に際して意識していることなどについて教えてください。
- (2) 防災に関し、地域のどのような主体が、どんな時に、どのような取組を行うと良いと思うか、意見やアイデア等を教えてください。

### 【例】

「保育園や幼稚園からのお便りの中に防災に関する情報があると良い」

「地域子育て支援センターや子育てサロンで保護者が一緒に学ぶ時間を持つ」